

飛翔

発行責任者
平塚MAC
山本 和昭



平塚MAC定時総会

4月20日平塚MACの定時総会が、ひらつか市民活動センターで開催されました。コロナ禍の為、令和元年以来の対面での総会となりました。31名の参加と16名の委任状を得て、総会が成立し、3つの議案は提案通り可決承認されました。

3年ぶりの対面での開催

若返った役員体制

総会は冒頭昨年度に亡くなられた3名の会員への黙祷から始まりました。会員の平均年齢が上がっているとは言うもの大変残念な事でした。

会長からはMAC創設23年目を迎え、新人も増え、役員も世代交代して行く、その中でもっと充実した人生をと言うDNAを継続して貰いたい。何よりも活動への参加をお願いしたいとの挨拶がありました

総会では、令和4年度の事業報告と決算報告。続いて令和5年度の役員選出。更には、令和5年度の事業計画と予算について、提案と審議・採決を行い、それぞれ可決承認されました。

また、会の中で、新役員挨拶、新入会員の紹介と挨拶がありました。その他、質疑応答の中で次の様なご意見を頂き、今後役員会で検討します。

新会長挨拶

ボトムアップで活性化を

皆さんこんにちは、この度会長に選出されました山本和昭です。よろしくお願ひし



①MACへの女子を入れることも考えたかどうか。
②会員名簿の配布の希望。
③囲碁を楽しむ会からの寄附の経緯を知りたい。
④配布物を郵送する場合、会費の増額も必要となるが、会員の意見を聞きたい。

役員会 事務局

と短く、MAC創設期の熱気を知りません。また、今回新たに就任した役員も同様の経験年数です。その様な中で平塚MACを舵取りして行くことになり、これまで以上に皆様方のご支援とご協力をお願い出来ればと思います。

MACはそれぞれの部会活動の集合体であり、個々の部会の活性化が、総合力になると思います。コロナも

会長退任に当たって

人生は過ぎし方次第

「人類に災害と疫病は避けられない」と云います。人類史に残る新型コロナ感染症の真つ只中を会員の皆様とともに歩んできたこの2年間でした。

緊急事態宣言の発動やら多くの制約がある中に、活動中の部会には積極的にご参加を頂き、お陰様で平塚MACは健在です。

この度、会長を退任することになりましたが、このネガティブな環境にも拘わらず多くのご支援を頂きましたこと誠に有難う御座いま

一段落、いろいろな活動にどしどしご参加下さい。

また、社会情勢の変化として、労働力の減少や、定年延長等によりMACへの加入年齢も上昇し、平均年齢も79.6歳となりました。

その様な中ですが、我々が健康を維持向上させて行くことが大切です。人生百年時代です。元気に過ごして行きましょう。

山本和昭 記

交代する新体制は、「共生社会」へと変わりゆく時代に相応しいメンバーで活躍が期待されます。

また、4年振りに開かれた総会では、会員より発言のあった女性会員の問題。

これは平成27年度、当時の古和田会長により初めて提唱されました。この度、新たに会員の内から提議が有ったことは時代の趨勢と云っては大きいですでしょうか。今は多様性の時代とも云われます。

一方、創立の趣旨からして

当面のスケジュール

- 6月8日、22日、7月13日、27日(木) パソコン勉強会
- 6月5日、19日、7月3日、24日(月) パークゴルフの会
- 6月2日、9日、16日、23日 7月7日、14日、21日、28日(金) 囲碁を楽しむ会
- 6月1日(木) 歩く会

「男の居場所的存在としての平塚MACはどうなる事でしょう。こちらも上手く「共生共存」出来るでしょうか。意見の集約には、じっくりと時間を掛けるべきだと思います。

さて、高齢化社会を代表する様な平塚MAC。高齢化は避けられませんが、年齢は問題ではなく、人は「過ぎし方次第」で元気に生きることが出来る。人生百年時代、此れからも増々進化してまいります。

今込祐弘 記

会員往来(退会)

伊藤孔三さんが3月に逝去されました。ご冥福をお祈り致します。張ヶ代尚治さんと深澤寛巳さんが自己都合により退会されました。